

釧路町立富原小学校

指定年度：H28～
児童数：445名

1 包括的な学校改善に向けた取組の概要

① 教育理念や経営方針の浸透

目指す子ども像を保護者や地域住民と共有することが大切であると考え、学校運営協議会や保護者会等における意見交換の機会を設定するとともに、ランドデザインや学校だより等を活用し、教育理念や学校の経営方針について周知した。

教職員に対しては、教頭や主幹教諭、教務主任等のミドルリーダーと学校の経営方針や年度の重点について、取り組む際の手順や方法、ゴールイメージを共有し、具現化に向けたシナリオを明確にした。

② コミュニケーション

教職員一人一人の課題解決の方法を明確にすることが大切であると考え、年間を通して適宜教職員との面談を実施し、目標や課題意識、悩みの共有を図るなど、教職員との面談を有効活用した。

③ 人材育成

まず、学校運営の要である教頭との意図的・計画的な面談を実施し職能の向上を図るよう努めた。

また、組織的な教育活動の質の向上を図るため、次の3点に取り組み、授業スタイルの共有とICTの活用を通じた人材育成の取組を推進した。

- ・一単位時間や単元において、課題の設定、「見通し」と「振り返り」を大切にされた日常の授業改善に結び付く校内研修の実施
- ・教材の提示、意見交流の道具としてのICTの効果的な活用
- ・新型コロナウイルス感染症対策の一環として、教室の密を避けるためにリモートによる中継型チーム・ティーチングの授業の実施

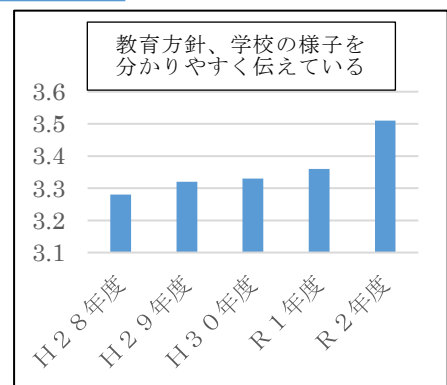


【ICTを活用した授業スタイルの共有】

2 取組の成果と課題（□：成果 ■：課題）

□教育理念や経営方針の浸透について、学校運営協議会や保護者会等において周知する取組を推進したことにより、学校評価において、保護者からの評価（4段階）が、平成28年度の3.28から3.51と向上させることができた。

■日常の授業改善に結び付く校内研修やICTの活用について取組を進めているが、教育活動の更なる質的向上を図るため、授業改善の継続や家庭、中学校との連携強化、1人1台端末の有効活用などの取組を通し、教育の質の向上を図るため、人材育成をさらに推進する必要がある。



【保護者アンケートの結果】